



LPI-Japan主催イベント

HTML5 プロフェッショナル認定試験 レベル1 ポイント解説セミナー

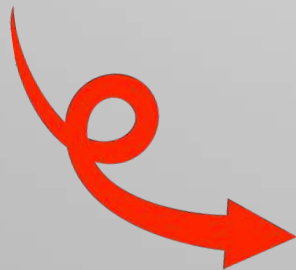
2018年1月27日

講師：大藤 幹

(株式会社クリーク・アンド・リバー社 認定講師)



この本の
著者です



[Mynavi Examination Library]


HTML5

プロフェッショナル 認定試験 レベル1

対策テキスト&問題集

Ver2.0
対応版

大藤 幹・鈴木 雅貴 [著]

 LPI-Japan HTML5 認定教材


- 重要度をふまえて整理された効率的カリキュラム。
- 理解しやすいから記憶に残る!
- 練習問題をこなして確実に力をつける!

最新のHTML5.1
勧告に
完全対応!

2017年改訂の
新出題範囲
(Ver2.0)対応!

1回分の
模擬試験を
ダウンロード
可能!

**「最短で合格」
したいならこの1冊!**


マイナビ



本日解説する主な内容

- HTML5プロフェッショナル認定試験の概要
- 新しい出題範囲「Ver2.0」について
- HTML5 → HTML5.1 → HTML5.2での変更点

HTML5プロフェッショナル 認定試験の概要



HTML5プロフェッショナル認定資格とは？

HTML5プロフェッショナル認定資格は、
HTML5・**CSS3**・**JavaScript**など
最新のマークアップに関する技術力と知識を
中立的な立場で認定する認定資格で、
2つのレベルに分かれています。



2つのレベル



HTML5 Level.1

→ Markup Professional

マルチデバイスに対応した**静的なWebコンテンツ**をHTML5を使ってデザイン・制作できる。



HTML5 Level.2

→ Application Development Professional

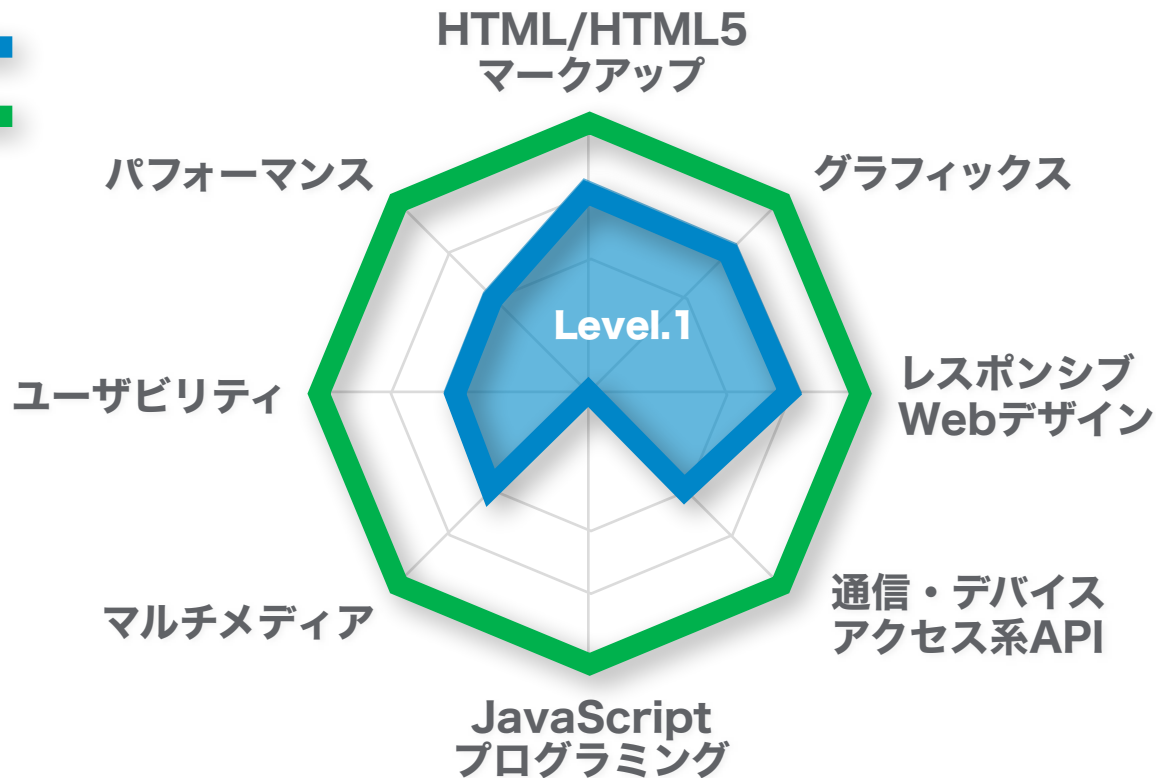
システム間連携や最新のマルチメディア技術に対応したWebアプリケーションや**動的Webコンテンツ**の開発・設計ができる。



対象となる技術の範囲

Level.1 

Level.2 





レベル1 試験概要



所要時間	90分 (機密保持契約とアンケートの時間を含む)
試験問題数	約60問
受験料	¥ 15,000 (税別)
試験実施方式	コンピュータベーステスト (CBT)

合格点は何点？



約7割の正答率で合格

回答パターンは？



単一選択 • **複数選択** • **記述式**



Miki Ofuji

has successfully passed LPI-Japan HTML5 Professional Certification Level.1 Exam and attained

LPI-Japan HTML 5 Professional Certification Level.1

LPI-Japan certifies you as an HTML5 Professional Certification Level.1 Certified Professional for the term shown below.

Acquired

On the 11th day of October 2013

Active

Until the 1th day of January 2019



Chairman of LPI-Japan

trademarks and registered trademarks of LPI-Japan. All rights Reserved.
http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/



認定証・認定カード・認定者ロゴ

認定証



認定カード



認定者ロゴ (名刺用)





オフィシャルサイト

<http://html5exam.jp/>

Twitter

[@html5Cert](https://twitter.com/html5Cert)

Facebook

<https://www.facebook.com/html5exam>

新しい出題範囲
「Ver 2.0」について



出題範囲の変更

- 2017年**3月1日**に出題範囲が改定され
Ver2.0となった
- 2017年**8月31日**までは古い出題範囲
(Ver1.0)でも受験可能だった



Ver2.0でどう変わったのか？

- ✓ クライアント系のみのお仕事をしている方に配慮し、**サーバ関連技術**に関する出題が**減少**
- ✓ Webディレクターの方も受験しやすいように、HTML5で何ができるのか（**APIの知識**）を問う問題が**増加**



もう一つの重要な変更点！

出題の対象となる仕様が

HTML5.1 になった！



出題対象となるHTMLの仕様が異なる

Ver1.0

2014年10月28日 W3C勧告

~~2014年10月28日 W3C勧告~~

HTML5

Ver2.0

2016年11月1日 W3C勧告

~~2016年11月1日 W3C勧告~~

HTML5.1

2017年12月14日 W3C勧告

~~2017年12月14日 W3C勧告~~

HTML5.2



HTML5 → HTML5.1

で何が変わったのか？



HTML5.1で

新しく追加された要素



1. **picture**要素 → レスポンシブイメージ

2. **details**要素

3. **summary**要素

→ ディスクロージャーウィジェット

4. **menu**要素

5. **menuitem**要素

→ コンテキストメニュー

↓
※HTML5.2で削除

Demo



レスポンスブイメーシ の指定方法





レスポンシブイメージ関連の要素と属性

- New** 1. **srcset**属性 (img要素・source要素)
- New** 2. **sizes**属性 (img要素・source要素)
- New** 3. **picture**要素
4. **source**要素

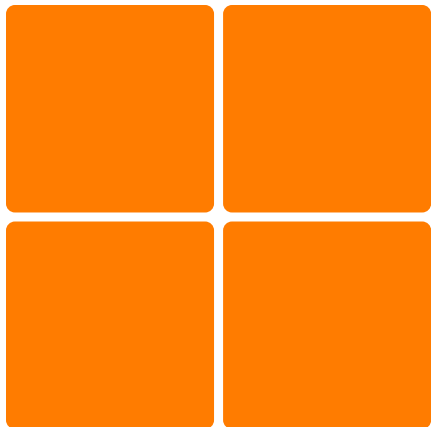
img要素のsrc属性のセット

srcset属性

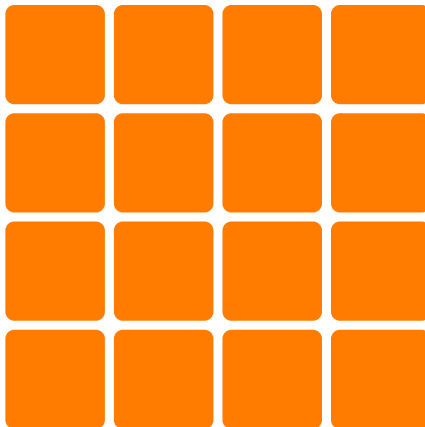


ピクセル密度

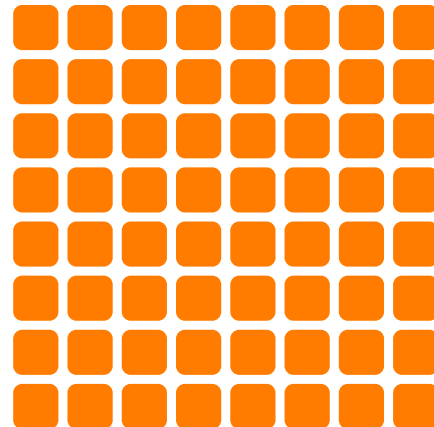
ピクセル密度 **1倍**
基準=96dpi



ピクセル密度 **2倍**
約200dpi



ピクセル密度 **4倍**
約400dpi





srcset属性の使い方 (1)

```

```



srcset属性の使い方 (2)

```

```

条件別の画像サイズの複数指定

sizes属性

ビューポートに対するパーセンテージをあらわす単位

単位	意味
vw	viewportのwidth に対する%
vh	viewportのheight に対する%
vmin	viewportの縦横の短い方 に対する%
vmax	viewportの縦横の長い方 に対する%

Demo

条件別のさらに詳細な画像指定

picture要素
source要素

<picture>

<source media="(条件)" srcset="～">

<source media="(条件)" srcset="～">

<source media="(条件)" srcset="～">

</picture>

Demo

HTML5.1 → HTML5.2

で何が変わったのか？



HTML5.2で

新しく追加された要素



HTML5.2で新しく追加された要素

1. **dialog**要素  **ダイアログボックス**

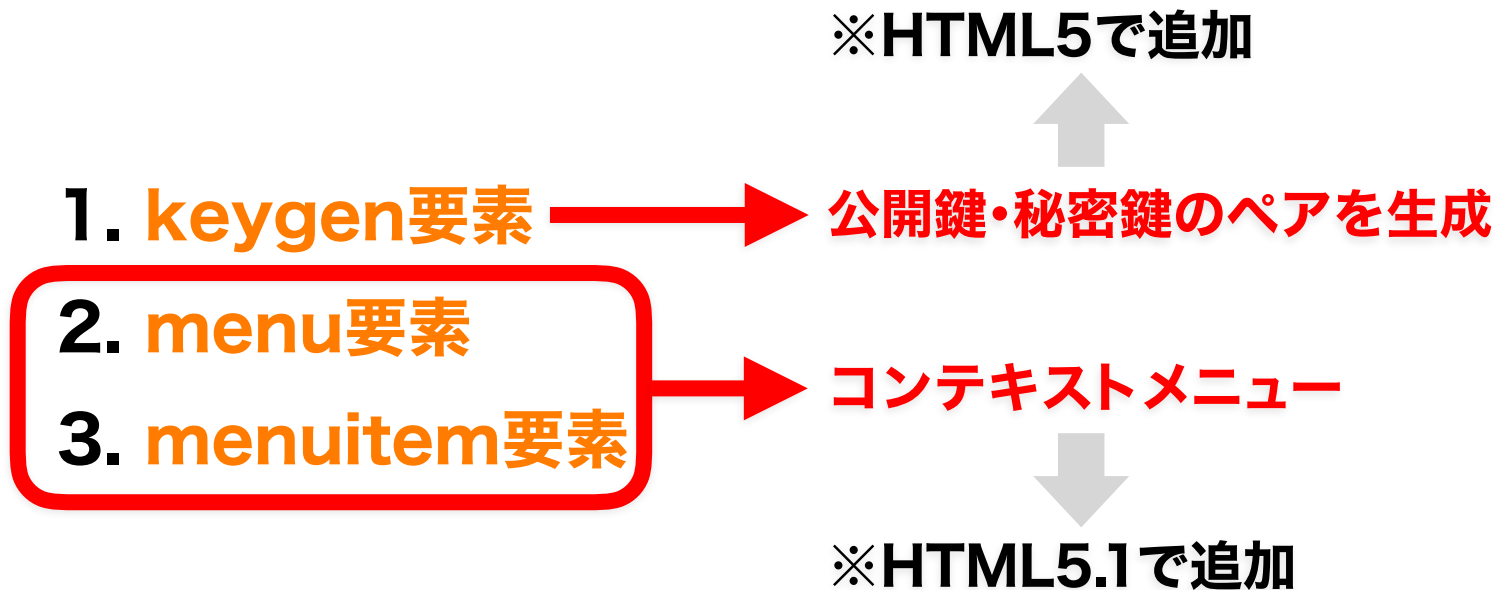
Demo



HTML5.2で

削除された要素







HTML5.2で 追加された属性



1. **manifest**属性



キャッシュ情報のURL

2. **longdesc**属性



画像の詳細情報のURL

※HTML5.1で削除



※HTML5で削除



HTML5.2で 削除された属性





HTML5.2で削除された属性 (一部抜粋)

1. **inputmode**属性 → 入力モード(全角ひらがな等)



※HTML5.1で追加



HTML5.2の その他の仕様変更





コメントに -- が入れられるようになった





`<body> ~ </body>`内にCSSを配置できる

1. `<link rel="stylesheet" ~>`
2. `<style> ~ </style>`

dl要素の内容をdiv要素でグループ化できる

```
<dl>  
  <div>  
    <dt> ~ </dt>  
    <dd> ~ </dd>  
  </div>  
  <div>  
    <dt> ~ </dt>  
    <dd> ~ </dd>  
  </div>  
</dl>>
```

LPI-JAPAN HTML5 Professional Certification

Open the Future with **HTML5**.